

平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

| | | | | | |
|------------|---|----|----|-----|---|
| 教科 | 理科 | 科目 | 地学 | 学年 | 3 |
| 担当者 | 柴田 | | | 単位数 | 5 |
| 使用教科書 | 地学(啓林館) | | | | |
| 使用教材 | ニューステージ新地学図表(浜島書店) センサー地学(啓林館) | | | | |
| 教科・科目の指導目標 | 地学基礎で学んだ知識をもとに、地学的な事物・現象に対して、科学的な思考力・判断力・表現力をみにつける。また、地学的に探求する能力と態度を育てるとともに、自然現象の概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。 またこれらの力を活用し、センター試験や2次試験に対応した演習を行う。 | | | | |

| 月 | 期間 | 指導内容 | 具体的な指導目標 | 予定時数 |
|-------|---------|------------------------------------|--|------|
| 4月5日 | 1学期中間考査 | 地学基礎の復習 | 宇宙の誕生から太陽系の形成まで、時系列に沿って地学基礎の内容を復習し、発展的な内容への下地とする。 | 30 |
| 5月5日 | | 地球の変遷 プレートテクトニクス | 地球の概観について様々な観点から理解する。また、それを知るための方法を知り、科学的に探究する方法や考察の仕方について理解する。 地球の活動の原動力である、プレートテクトニクスについて理解する。プレート運動によって多様な地形や、地殻現象を引き起こすことを知る。 上記の内容について、適宜問題演習を行い、理解について確認・深化をはかる。 | |
| 6月5日 | 1学期期末考査 | 地球の活動 | プレート理論に基づいて、地震・地殻変動・火山活動などが起こるメカニズムについて考察し、理解する | 30 |
| 7月5日 | | 地表の変化と地層 地球・生命・環境の歴史 私達の日本列島 | 地表の変化のメカニズムについて理解し、地表の変化や地層の様子から、地質時代の組み立てができる。 地殻・生命の進化や地球環境の歴史について学び、それらが相互に影響し合っていることを感じる。またそこから、将来の環境に与える影響としての日本列島の形成、形成の歴史について理解することを通して、日本列島で起こる現象や引き起こされる災害について考える。 関連する問題演習を行い、理解について確認・深化をはかる。 上記の内容について、適宜問題演習を行い、理解について確認・深化をはかる。 | |
| 7月5日 | 2学期中間考査 | 大気の大気構造 | 地球大気の概要やそこで起こる現象について理解する。また、地球のエネルギー収支について学び、大気が生命に及ぼす影響について考える。 | 35 |
| 10月5日 | | 大気の運動 海洋と海水の運動 気候変動と地球環境 | 大気の運動のメカニズムについて理解し、様々な規模の大気の流れやそこから派生する現象について考える。また、日本列島の気象について理解する。 海洋の構造と海水の運動について理解し、海洋の時間的・空間的なスケールについて学ぶ。 大気や海洋についての知識をもとに、今後の気候変動や地球環境について考える。 上記の内容について、適宜問題演習を行い、理解について確認・深化をはかる。 | |
| 10月5日 | 2学期期末考査 | 太陽系の天体 | 地球や惑星の運動について理論的に考え、天体の運動について総合的に理解する。太陽や太陽活動について学び、地球へ恒星の性質と進化について理解し、現在の太陽系や宇宙がどのように変化してきたかを考える。 | 35 |
| 12月5日 | | 恒星の性質と進化 銀河系と宇宙 | 銀河系やそれを取り巻く銀河、宇宙の構造について理解し、宇宙の時間的・空間的スケールについて学ぶ。 上記の内容について、適宜問題演習を行い、理解について確認・深化をはかる。 | |
| 12月5日 | 学年末考査 | 問題演習 問題演習 | 問題集等を活用し、センター試験問題を中心とした問題演習を問題集等を活用し、私立大学の入試問題や国公立2次試験対応 | 45 |

| | |
|----------|--|
| 評価の観点・方法 | 授業中の机間巡視や発問、ノートやプリントの内容や問題により理解度を図る。 定期考査により、知識だけでなく思考力・判断力・表現力についての力を見る。 2学期以降は、毎回の演習問題の結果を分析し、フィードバックする。 |
|----------|--|